

東京教区時報

第1229号
2011年11月13日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

《奉献先から》

笹島キリスト教連絡会
笹島キリスト教連絡会(以下「笹キ連」と略)は、現在、名古屋市周辺にて野宿を強いられる人々の生命と人権を守るために、殊にキリスト教会各派や市民団体などに協力を呼びかけながら、主に以下のような支援活動を行なっています。
事件に巻き込まれ、逮捕・拘束、或いは起訴された野宿生活者に対する獄中支援と裁判支援
野宿生活者の生活相談や生活支援
2001年に笹キ連が母体となつて設立した「NPOさしま共生会」による炊き出し等の活動に対する財政支援他

(笹キ連事務局長 野村潔)

堅信受領

11月6日 東京諸聖徒教会
小宅伶奈 小宅悠太(諸聖徒)
11月16日(水) 10時半
教役者レクイエム
主教座聖堂

主教座聖堂

説教 長谷川正昭司祭
執事 島田弟丸 司祭杉浦義道
司祭坂野移文 司祭鈴木光武
主教後藤文蔵 司祭西村敬太



「いっしょに歩こう!」

9月14日 斎藤 寿子(91)
支援募金累計額(10月31日現在)
3千6百35万8千503円

聖三一

今週・来週の予定

11月13日~26日

- 13(日) 聖霊降臨後第2主日
主教巡回 三光教会
- 14(月) 常置委員会
エルサレム協働委員会
- 16(水) 教役者レクイエム
エルサレム協働委員会
：平和会議
- 17(木) 環状G牧師協議会
城南G牧師協議会
財政委員会
- 18(金) 下町G牧師協議会
- 20(日) 降臨節前主日
主教巡回 目白聖公会
外濠G教会協議会
アドベント前の光の礼拝・震災記念聖餐式
- 21(月) 人権委員会
ハラスメント防止委員会
- 22(火) 銀座朝禱会
- 23(水・休) 第117(定期)教区会
- 24(木) 第8回委員長連絡会
- 25(金) 東関東協議会

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

3月11日大震災の翌日。余震が止まらな
いまま日が暮れ始めても、いつもの神楽坂
の賑わいは見えませんでした。教会玄関辺
りを見回っていると、ひどい揺れが。かと
云ってどうにもならず、その
場に立つたままでいました。そ
こへご婦人が一人、駆け込んで
来ました。助けて!と。その人
が後ろから来たお嬢さん2人組
を呼び止めたので、こうして揺
れがおさまるまでのほんのしば
らく、見知らぬ者とおしで「避
難」の時を過ごすことになりま
した。当たり前ですが、大きな
揺れにみんな過敏になっていま
した。

《み手のなかで》

ここに教会が建っている

ここへ避難した理由は異口同音に「ここ
は教会だから」でした。いつもの教会で
あれ素通りするけれど、とっさの事態に
「ここら辺りに『あの教会』が在るはず」

司祭 石坂み糸子

と、探しながら走ったとそのご婦人は言
いました。私も一緒にホルの隅っこへかた
まって座り込んで、自己紹介するでもな
く、ここを歩いていたらわけを披露するでも
なく、声に出して祈りを献げるわ
けでもなく、みんなして飴をなめ
ていました。合間に、トイレへは
連れ立っていきこう、持っているペ
ットボトルへ水を満たそう、帰宅
の交通はどうかなどと、ぼそぼそ
と情報交換はしましたが、思い返
せばあの沈黙は、それなりに互い
を労り合っていたのだと、いま気
付きます。

闇が深くならないうちにそれ
ぞれの道へ解散しました。見送
りながら、都会の誰もが冷たいわけ
でも、身勝手でもないことを感じ、それ
以上に教会がここに建っていることに感動
していました。(聖バルナバ教会牧師)

人事

司祭 中村淳 日本聖公会東京教区東京聖マルチン教会の牧師の任を9月30日をもって解く。東京教区主教座聖堂付とし、日本聖公会東日本大震災支援「いつしよに歩こう」プロジェクト「特命担当主事」として勤務することを10月1日をもって許可する。その間、東北教区加藤博道主教の指示と指導のもと職務を執行すること。但し、原則として月1回は東京教区主教の指示に従い、東京教区の教会での礼拝奉仕を命じる。

司祭 佐々木庸 東京聖マルチン教会協力司祭解任(9月30日付)、同教会管理牧師任命(10月1日付)

聖職候補生 塚田重太郎 聖パウロ教会勤務解任(10月31日付)

付)、主教座聖堂付命令(11月1日付、英国へ留学)

正義と平和協議会

運営委員会報告(11月1日)

(1)議長報告 来年1月15～16日に管区・正義と平和協議会各教区担当者会開催(京都)。

(2)協議事項 *正義と平和協議会は12月3日(土)聖マーガレット教会、14時「福島を考える緊急講演会」、16時協議会。*協議会だより発行作業日程決定。

主教座聖堂《光の礼拝》

アドヴェント前の「光の礼拝・聖書の黙想」ひきつづき「東日本大震災を覚えている聖餐式」11月20日(日)17時、聖アンデレ主教座聖堂、司式・説教「大畑喜道主教、式典長「高橋宏幸司祭、奉唱」教区聖歌隊、主催

「東京教区主教座聖堂・同教役者会、照会」教区事務所。

神愛教会秋のコンサート

アンサンブル・アム(FI・VI・Pf)による名曲玉手箱。20日

(日)14時 同教会。一般千五百円、学生千円。照会 090(9810)2934(演奏者)。

銀座朝禱会

1973年に宣

教・信徒の学びの一環として発足

しBSAの所管から離れて4年

半、全国朝禱会内に位置づけ今月

22日に80回を迎える。毎月第

2・4火曜7時半～9時、「ルノ

アルニュー銀座店」2階「マイ

スペース」の一室。会費「モ二

ングセット付き700円。チャブレ

ン「佐々木庸司祭、照会 090

(2738)5390・世話人「

松田正人(真光教会信徒)。

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

【クローズアップ】100

そうだったのか! 『貧困』

いつしよに考えてみよう!

私たちのまわりにある貧困、

多様な形をとる貧困、

10月1日(土)、貧困問題を考えるプロジェクトの第2回セミナーが目白押しで開かれた。

参加者は15名で、スタッフと共に活発な討論、ディスカッションが行われた。

弁護士の森川清さんに「わたしたちのとなりにある貧困」と題して講演をして頂いた。首都圏生活保護支援ネットワークの事務局長や、東京災害支援ネット(とすねっと)代表の森川さんのお話は具体的でとても説得力のあるものであった。

若者の貧困が増えているこ

と、貧困が見えなくなってきた

貧困率は上昇しているが注目され

れなくなっていること、などが

話された。税金・給付による所得再分配の後、不平等化、貧困

化が起きていること、完全雇用の

概念の中に、マイノリティ、

つまり障害者やホームレスなどは入っていないと指摘された。

貧困をなくすことはできるの

か、そのためにはどうすればよ

いかの議論では、第1に、もと

を絶つこと、つまり教育と働く

こと、仕事が大事で、第2には

貧困を減らすために、安定的な

仕事を、仕事自体を創出するこ

とが重要だと強調された。

現場からの声を聞く、という

趣旨で一人からのお話を聞いた。

都立高校教員の平井拓さんから

は、「子どもの教育と貧困」、

「カパティラン」のカウンセラ

ーをしている田中クリスティー

さんからは「日本に暮らす外国

人と貧困」と題するお話があっ

た。日々、さまざまな問題を抱え

る人々と接しているお二人のお話

には胸に迫るものがあった。

小グループによるディスカッ

ションでは、いろいろな質問も

出された。委員のほうで用意し

ていた質問にも答えてもらい、

いつしよに理解を深めた。

いまや貧困は、さまざまな形

でどこにでも、浸入していると

いうことを強く感じた。

第3回のセミナーは来年1月

に予定している。

小金井聖公会信徒

委員 松井範惇